

核データニュース編集小委員会報告

■核データニュース編集小委員会

合川正幸（北海道大学）、岩本修（原子力機構）、大塚直彦（IAEA）、金政浩（九大）、小浦寛之（原子力機構）、中村詔司（原子力機構）、丸山修平（原子力機構）、山野直樹（放射線線量解析ネットワーク）

（敬称略、順不同）

■核データニュース発行報告

発行：下記のとおり発行いたしました。執筆者の皆様、ご協力ありがとうございました。

第 138 号（通巻第 174 号）2024 年 6 月公開

- 「2024 年春の大会」合同セッション「ミューオン核データの進展」
 - インビーム放射化法によるミューオン核データの測定 新倉潤
 - ミューオン原子核捕獲反応からの放出荷電粒子測定 川瀬頌一郎
 - ミューオン捕獲反応の理論計算から見えた核データの新たな可能性 湊太志
 - PHITS のミューオン輸送計算機能とその応用 安部晋一郎
- RIPL-4 IAEA Coordinated Research Project 河野俊彦
- 上海ガンマ線源の開発 宇都宮弘章
- ISTC/SAC 議長が行くーカザフスタン編ー 深堀智生
- CEA-Saclay での滞在記 奥山莉子
- 新博士誕生：学位論文と論文投稿を通して学んだこと

予告：下記の記事の掲載を予定しています。核データニュースを通して部会を盛り上げていくために、自薦・他薦問わず積極的な記事提案をお願いします。

第-139 号（通巻第 175 号）2024 年 10 月公開予定（題名はいずれも仮題）

- 第 36 回 NEA 核データ評価国際協力ワーキングパーティ（WPEC）会合報告 岩本修
- 「2024 年秋の年会」企画セッション「将来の核データ 一次世代 JENDL に向けて」
 - 核分裂核データ評価手法の高度化 奥村森
 - ミューオン核データ 新倉潤
 - 原子炉許認可のための核データ 山本弘明
 - 医療用同位体生成と放射線治療線量評価 石塚千香子
- ISTC/SAC 議長が行く(2) 深堀智生

（以上）